



可とう形 外装薄塗材  
フレクシイ

## 施工要領書

### 【下地処理 新築サイディング編】



二瀬窯業株式会社

〒820-0044 福岡県飯塚市橋田 669

本社・工場:0948-22-0447 名古屋営業所:052-509-2485

関東工場 :0438-30-7372 大阪営業所 :06-6583-3310

東京営業所:03-6453-6685 福岡営業所 :0948-22-0447

## 1. 適用範囲

フレクシイを用いて、戸建住宅(サイディング下地)の外壁に対する仕上塗装に適用する。

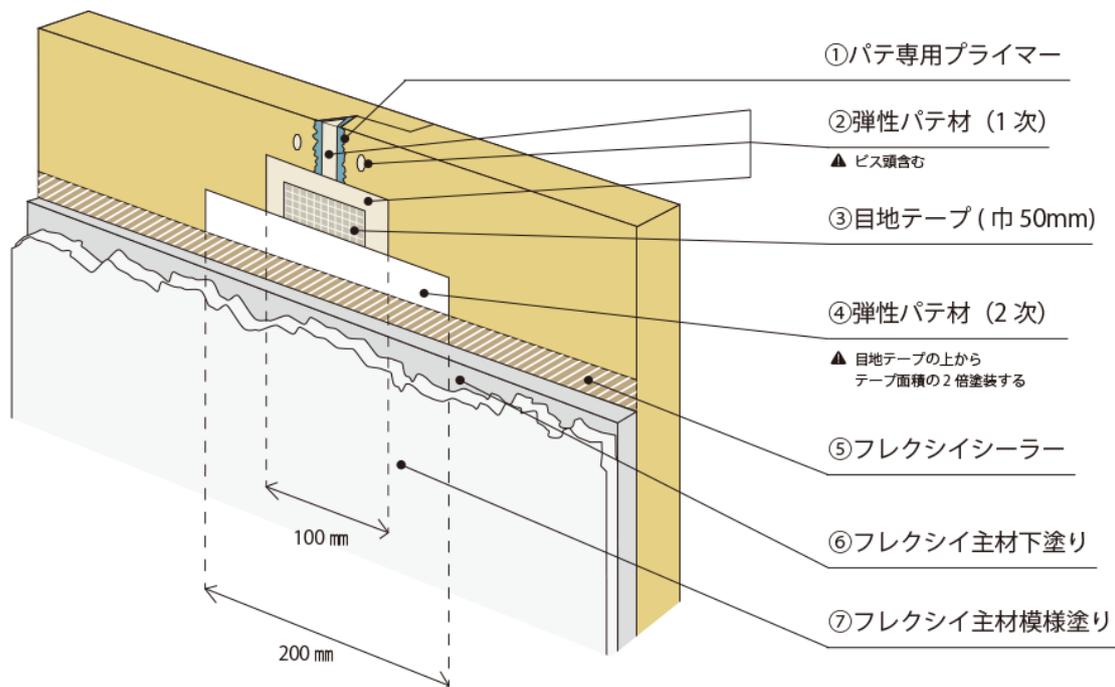
## 2. 工程と構成材料

工 程	材 料		荷 姿
	製 品 名	材 質	
目地処理	オートンアドハー3500 専用プライマー	1液溶剤形 ウレタン系プライマー	320mlカートリッジ 10本 150ml専用プライマー 2缶
	弾性パテ オートンアドハー3500	速乾一成分形ウレタンパテ材	5号刷毛 1本 ケース入り
	目地テープ	グラスファイバーテープ	50mm×153m/巻
下塗り	フレクシイ シーラー	アクリルカチオン系水性シーラー	15kg 石油缶 / 5kg ポリタンク
主材下塗り および 主材模様塗り	フレクシイ 主材	無機質充填材	11kg 紙袋
	フレクシイ 混和液	水性弾性アクリル樹脂系	9kg ポリタンク
	フレクシイ 専用骨材	寒水石	15 及び 20kg 紙袋

(注意) 各サイディングメーカーの仕様に沿って施工を行って下さい。

## 3. 部位別塗装概要

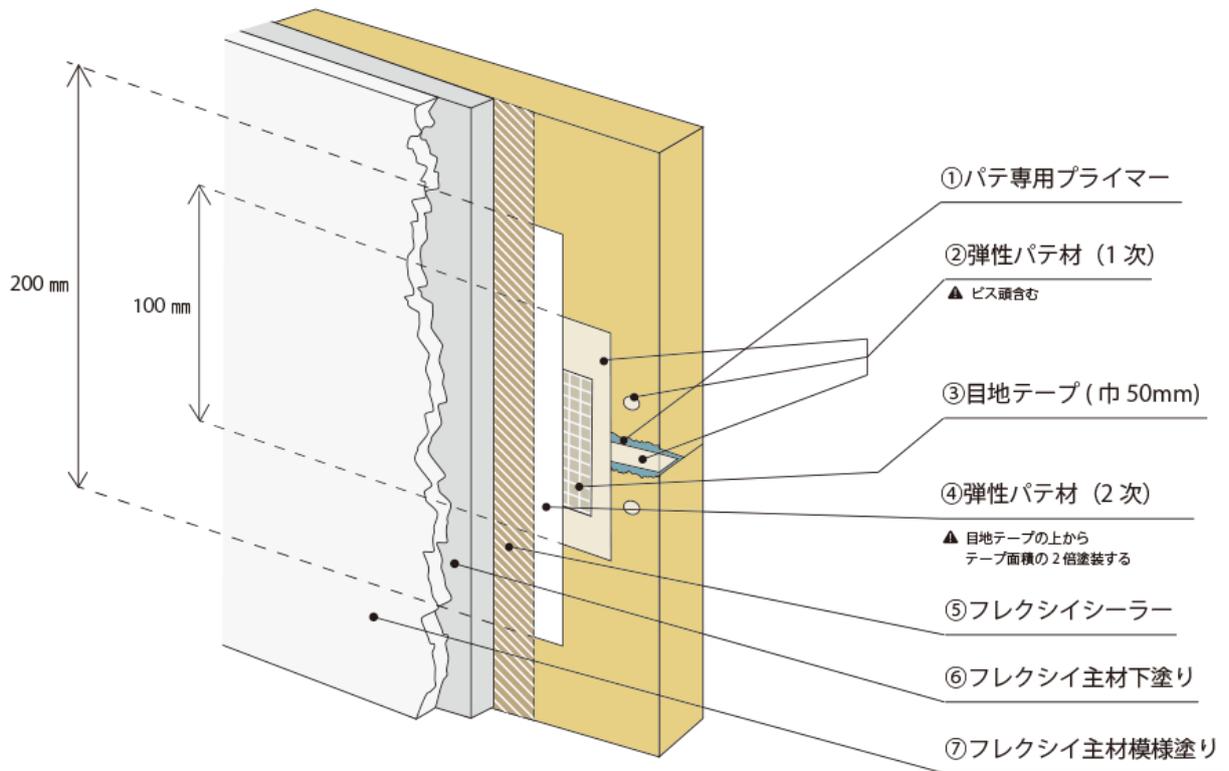
### 3-1 縦目地部 目地消し仕様



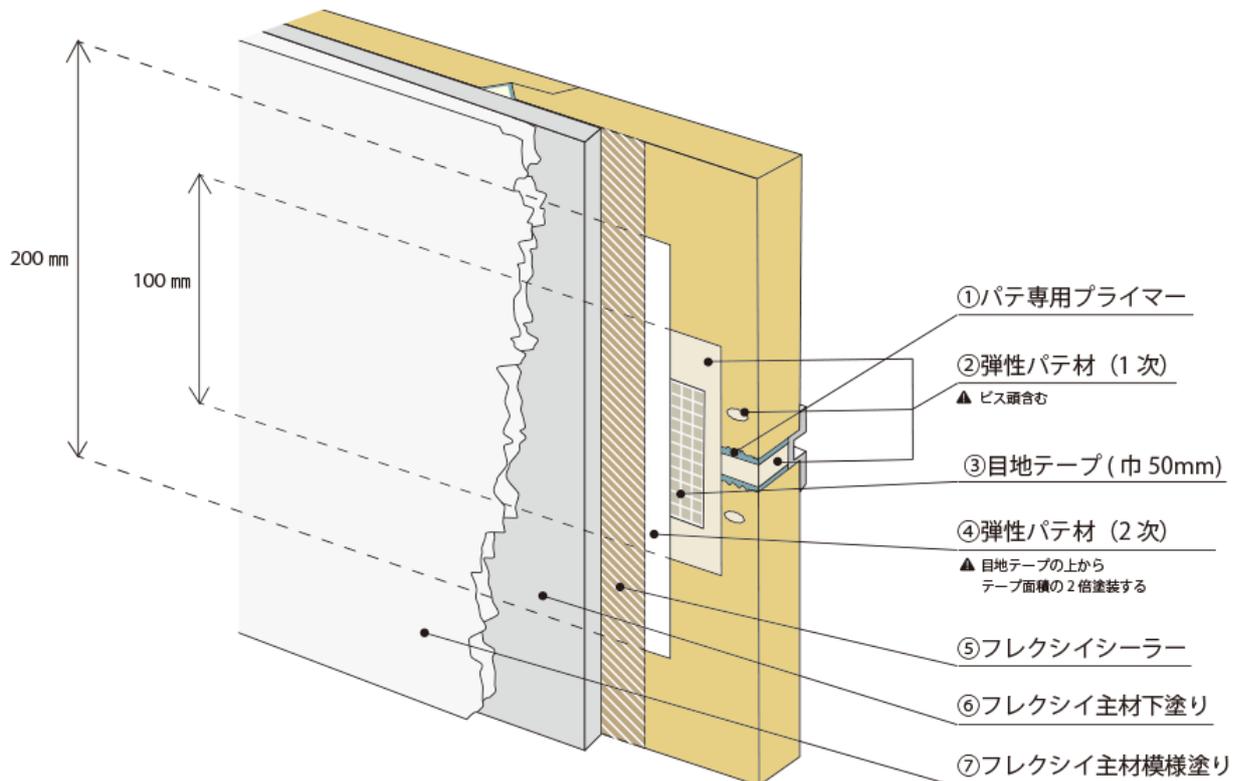
3-2 横目地部

目地消し仕様

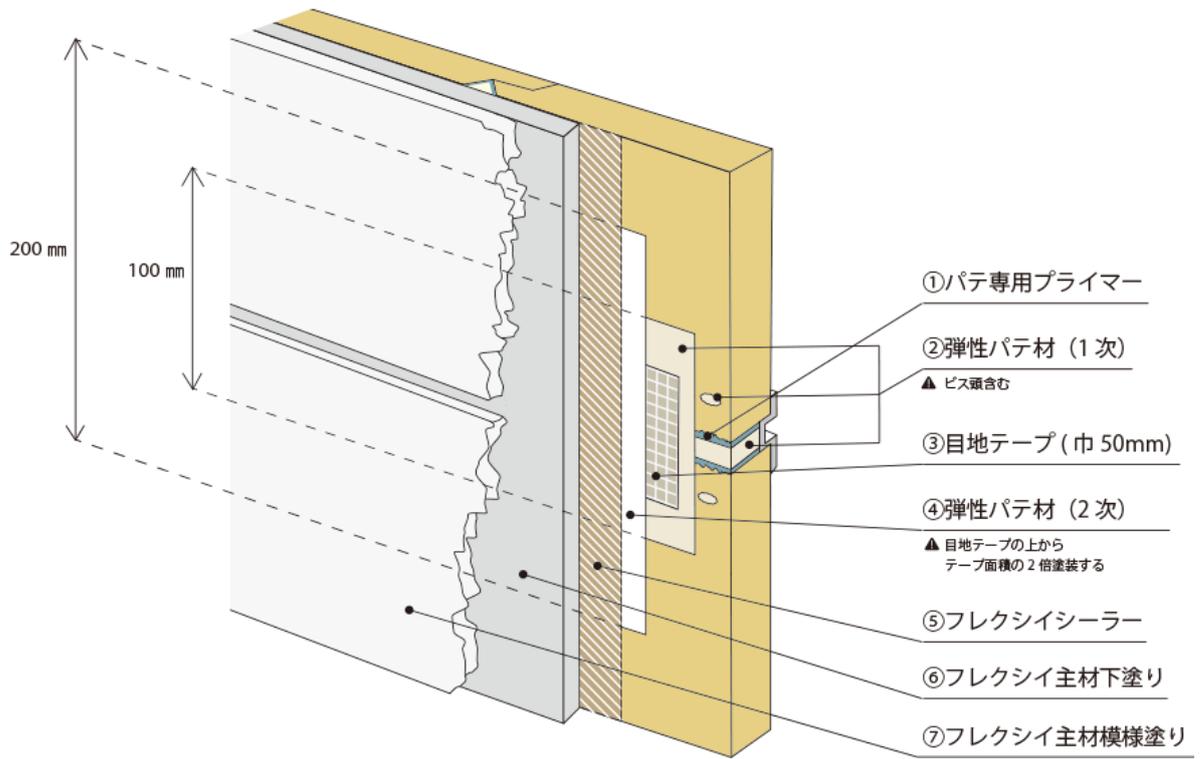
①



②

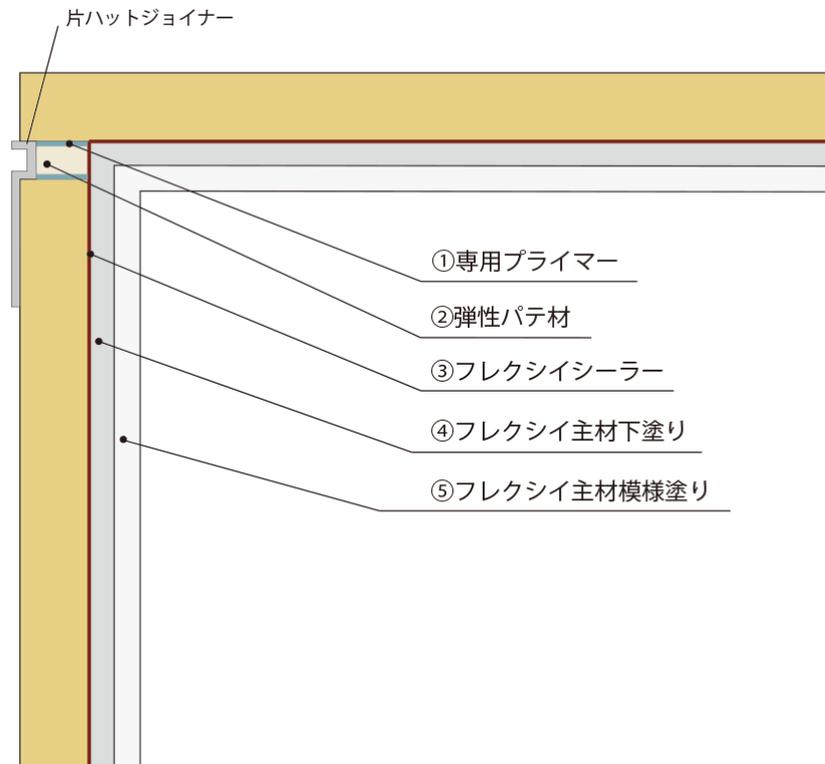


化粧目地仕様 (1-2、2-3階の横目地)



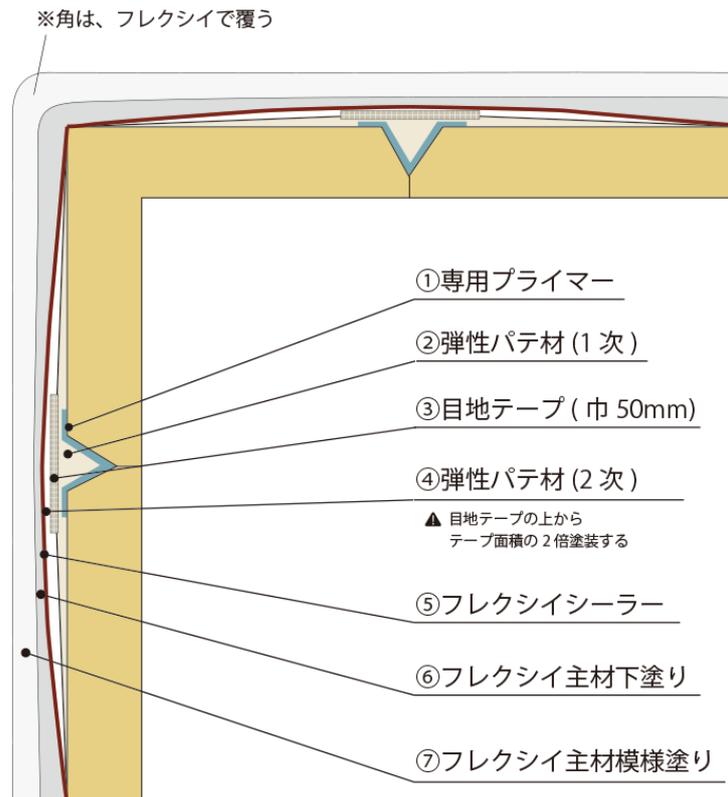
※ハットジョイナーを使用する場合は、バックアップ材を使用しないで下さい。

3-3 入隅部縦目地 (化粧目地仕様)

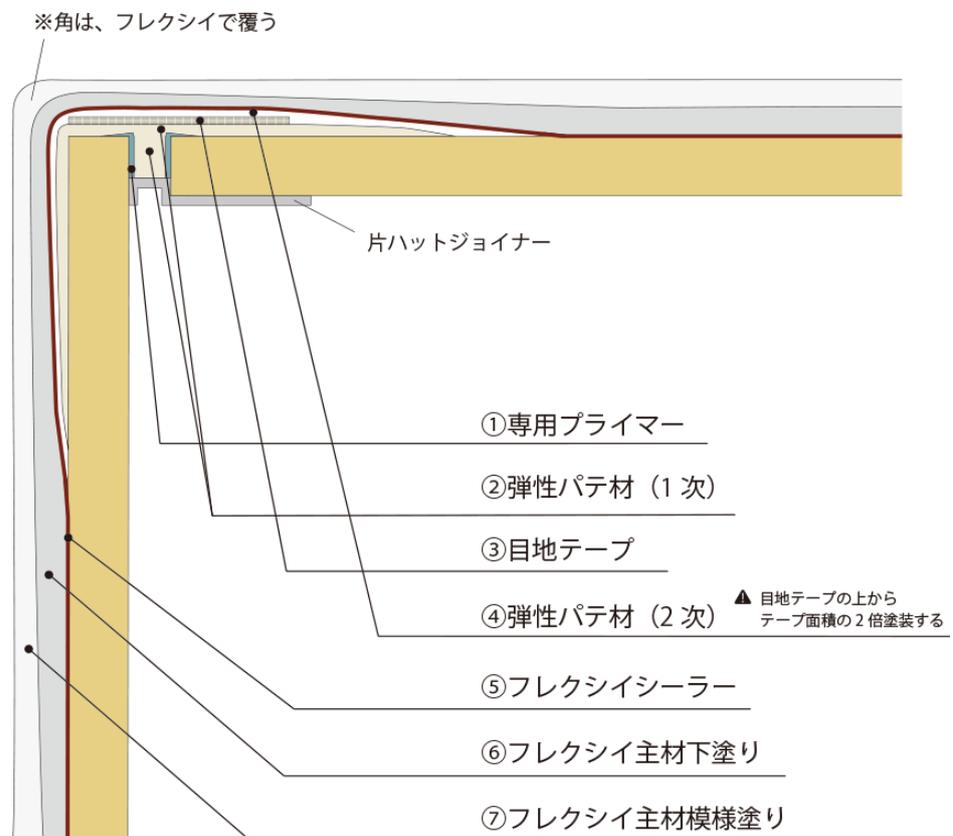


※ハットジョイナーを使用する場合は、バックアップ材を使用しないで下さい。

3-4 出隅部目地処理  
(同質出隅柱仕様の場合)



(ボード追い回し仕様の場合)



※ハットジョイナーを使用する場合は、バックアップ材を使用しないで下さい。

#### 4. フレクシイ施工工程の概要（詳細は、別紙フレクシイ模様別施工要領書を参照）

##### 4-1 施工準備

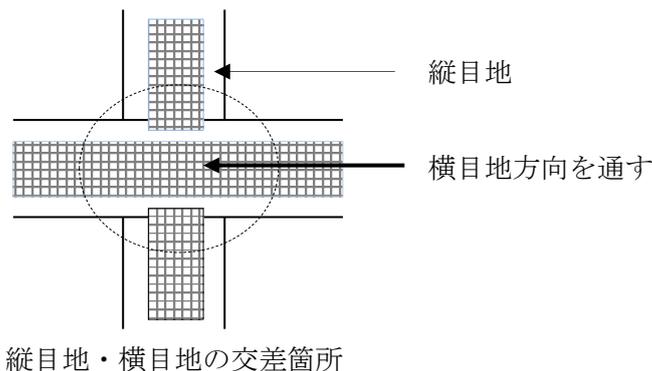
- 下地に汚れ、付着物が無いようにしておく。
- 下地を十分に乾燥しておく。

##### 4-2 養生

- フレクシイを施工する前に、建物周辺部の飛散防止ネットを設置し、材料が近隣に飛散しないようにする。
- 直接日光の当る面は、2重ネット養生にて壁面温度の上昇を抑える処置を行う。

##### 4-3 目地処理

- サイディング板小口部分にフレクシイ弾性パテ専用プライマー（オートアドハー3500専用プライマー）を塗付する。
- オートアドハー3500を金ベラで目地部に充填打設した後、直ちに目地テープをシワにならないように貼り付ける。尚、縦目地と横目地の交差箇所は、テープを重ねず横目地方向を通す。（下図参照）



- 弾性パテが指触乾燥後、追いパテ処理し目地テープをパテでサンドイッチの状態にする。この時、パテの不陸や端部の段差が発生しないよう十分に注意する。
- 目地処理後、仕上がり状態を確認し、不陸、目違い、段差がある場合は、主材ベースをコテ、ヘラ等で塗付し、段差が少なくなるよう処理しておく。
- 仕上材までの工程間隔時間は16時間以上7日間以内とする。

##### 4-4 下地処理材の施工

- フレクシイシーラーを中毛ローラーにて全面に塗付する。（次工程までの間隔時間は2時間以上）

##### 4-5 主材下塗り

- フレクシイ主材、混和液、水を混合攪拌し、金コテにて全面に塗付する。次工程までの間隔時間は2時間以上。（指触乾燥）但し、化粧目地を作るためにテープ養生する場合は16時間以上。

#### 4-6 主材模様塗り

○主材下塗りの乾燥後、化粧目地部（1-2階、2-3階部分の横目地および入隅部）の養生（10mm幅）を行う。

○フレクシイ主材、混和液、水および専用骨材を均一に混合攪拌した後、パターン見本に合わせ模様付けを行う。（本施工に入る前に試験塗りをを行い仕上がりパターンを確認する。）

○化粧目地養生テープは、模様塗り施工後、直ちに除去する。

#### 4-7 自主検査

#### 4-8 清掃

以 上。



可とう形 外装薄塗材  
フレクシイ

## 施工要領書

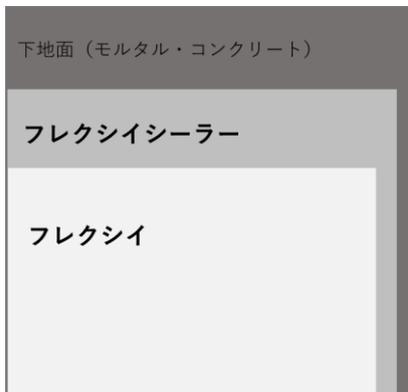
### 【下地処理 モルタル・コンクリート下地編】



二瀬窯業株式会社  
〒820-0044 福岡県飯塚市橋田 669

本社・工場: 0948-22-0447 名古屋営業所: 052-509-2485  
関東工場 : 0438-30-7372 大阪営業所 : 06-6583-3310  
東京営業所: 03-6453-6685 福岡営業所 : 0948-22-0447

モルタル・コンクリート下地への施工



関連資材

フレクシイシーラー (原液塗布)

下地面の確認

- 大きな欠け及びジャンカは予めポリマーセメントモルタルにて補修してください。
- クラックはVカットし、ポリマーセメントモルタルにて埋めてください。

下地処理

- 施工面全面に、中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、フレクシイシーラーを  $0.06\sim 0.08/m^2$  の割合で均一に塗布します。  
塗付後2時間以上 (20℃、65%RH) 乾燥させます。
- 乾燥後、次工程に移ってください。手で触って塗膜がつかなくなるまで確実に乾燥させてください。

フレクシイの施工

- 指定された施工方法・パターンにて仕上げを行ってください。  
(各パターンの施工要領書をご覧ください。)



可とう形 外装薄塗材  
フレクシイ

## 施工要領書

### 【材料仕様書 左官・吹付対応】

#### 【フレクシイは湿式材料です】

- ・粉体と混和液と水を混練し、定められた仕上げ方法に沿って職人さんが技や知識を駆使して丁寧に仕上げます。
- ・フレクシイ施工前には必ず、お施主様や設計士様の立会いの下、試し塗りを  
行い仕上がりを確認してから実施工を行って下さい。  
(見本で提出した決定サンプル板との比較)
- ・フレクシイは職人さんが現地で材料を塗付け、仕上げを行います。タイルや化粧パネルのように最初から定まった形が無い為、表面の砂目の出方など表情は均一にはなりません。また、見本で提出した決定サンプル板と全く同一の色調、仕上がりにならない部分もありますのでご了承下さい。
- ・フレクシイは施工する季節や施工中の天候の変化等により、明らかな施工ミスが無くても施工した部位毎に色調が微妙に異なるようなこともあります。品質にバラつきがある訳ではなく、湿式材料の性質としてご理解下さい。



二瀬窯業株式会社

〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669

本社・工場:0948-22-0447 名古屋営業所:052-509-2485

関東工場 :0438-30-7372 大阪営業所 :06-6583-3310

東京営業所:03-6453-6685 福岡営業所 :0948-22-0447

## 可とう形 外装薄塗材 フレクシイ

### 荷姿・施工資材

	<p><u>フレクシイ(主材)</u> (11 kg 紙袋)</p> <p>下塗 : 22 m<sup>2</sup>/セット (塗厚 0.7 mm)</p> <p>上塗 : 12~27 m<sup>2</sup>/セット (塗厚 0.8~2.0 mm)</p> <p>※パターンによって変わります</p>		<p><u>フレクシイ(混和液)</u> (9 kg 箱)</p> <p>フレクシイ主材1袋につき フレクシイ混和液1箱混入 してください</p> <p>※材料混練時に水道水を 加え固さ調整します</p>
	<p><u>フレクシイ専用骨材</u> ※フレクシイ上塗用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オルファス40、ライネス40用 専用骨材40 : 20kg紙袋</li> <li>● ウィートン3080用 専用骨材30 : 15kg紙袋 専用骨材80 : 15kg紙袋</li> <li>● サンディ25用 専用骨材25 : 20kg紙袋</li> <li>● サンディ10用 専用骨材10 : 20kg紙袋</li> </ul>		<p><u>フレクシイシーラー</u> (15 kg 缶)原液塗布</p> <p><b>無塗装サイディング板</b></p> <p>250 m<sup>2</sup> (15kg 缶) 80 m<sup>2</sup> (5kg 缶)</p> <p><b>モルタル・コンクリート</b></p> <p>125 m<sup>2</sup> (15kg 缶) 41 m<sup>2</sup> (5kg 缶)</p>
	<p><u>パテ材</u> (弾性パテ)</p> <p>※施工に際しては当社推奨品 を必ずご使用下さい</p>		<p><u>ファイバーテープ</u> (グラスファイバー)</p> <p>※施工に際しては当社推奨品 を必ずご使用下さい</p>

### 仕上げパターン名一覧 (左官・吹付け対応)

#### フレクシイ主材のみで仕上げるパターン

- 1) プレーン
- 2) フロウ

#### フレクシイ主材に専用骨材を加えて仕上げるパターン

- 3) サンディ 10
- 4) サンディ 25
- 5) ウィートン 3080
- 6) オルファス 40
- 7) ライネス 40

可とう形 外装薄塗材 フレクシイ 施工手順

仕上げパターン別 施工道具一覧 (左官・吹付け対応)

フレクシイ主材のみで仕上げるパターン

パターン名	工 法		
	工 程	左 官 施 工	吹 付 施 工
1) プレーン	下塗り	金ゴテ、ステンレスコテ	リシガン (口径 3 mm)
	上塗り (パターン付け)	金ゴテ	リシガン (口径 3 mm) +金ゴテ
2) フロウ	下塗り	金ゴテ、ステンレスコテ	リシガン (口径 3 mm)
	上塗り (パターン付け)	金ゴテ +木ゴテ/スチロールコテ	リシガン (口径 3 mm) +木ゴテ/スチロールコテ

フレクシイ主材に専用骨材を加えて仕上げるパターン

3) サンディ 10	下塗り	金ゴテ、ステンレスコテ	リシガン (口径 3 mm)
	上塗り (パターン付け)	金ゴテ	スタックガン (口径 8mm) +金ゴテ
4) サンディ 25	下塗り	金ゴテ、ステンレスコテ	リシガン (口径 3 mm)
	上塗り (パターン付け)	金ゴテ	スタックガン (口径 8mm) +金ゴテ
5) ウィートン 3080	下塗り	金ゴテ、ステンレスコテ	リシガン (口径 3 mm)
	上塗り (パターン付け)	金ゴテ+木ゴテ	スタックガン (口径 8/ 12mm) +木ゴテ
6) オルファス 40	下塗り	金ゴテ、ステンレスコテ	リシガン (口径 3 mm)
	上塗り (パターン付け)	木ゴテ	スタックガン (口径 8/ 12mm) +木ゴテ
7) ライネス 40	下塗り	金ゴテ、ステンレスコテ	リシガン (口径 3 mm)
	上塗り (パターン付け)	くし目ゴテ	スタックガン (口径 8/ 12mm) +くし目ゴテ

可とう形 外装薄塗材 フレクシイ 施工手順

材料の混練 (左官・吹付け対応)

<p>工程</p>	<p>■下塗り用材料 ■仕上塗り用材料 プレーン/フロウ (骨材無し)</p> <p>フレクシイ混和液 + フレクシイ主材 + 水道水</p>	<p>■仕上塗り用材料 (骨材入り) サンディ 10/サンディ 25/ウィートン 3080/オルファス 40/ライネス 40</p> <p>フレクシイ混和液 + フレクシイ主材 + 水道水 + フレクシイ専用骨材</p>																									
	<p>1) 750程度の練り樽を用意し、フレクシイ混和液 9 kgを入れて下さい。(写真の練り樽は 180缶)</p> <p>フレクシイ混和液</p>	<p>1) 750程度の練り樽を用意し、混和液 9 kgに水道水を 1.0ℓ (水量全体の 7割程度の量)、主材を 11 kg加えハンドミキサーで十分に混練して下さい。</p> <p>フレクシイ混和液 + フレクシイ主材 + 水道水</p>																									
	<p>2) ハンドミキサーで混練しながら、フレクシイ主材 11kg を少しずつ加えて下さい。一気に主材を加えると、混練不良 (ブツ・ママコの発生) の原因となります。</p> <p>+ フレクシイ主材</p>	<p>2) その後、専用骨材と残りの水を加え作業しやすい固さに調整します。</p> <p>+ フレクシイ専用骨材</p>																									
	<p>3) その後、規定水量 (約 1.0ℓ) を加え、塗り広げやすい固さにします。良く混練します。混練は、空気の巻き込みが少なくなるように容器の底のほうで行います。</p>	<p>3) 良く混練します。 混練は、空気の巻き込みが少なくなるように容器の底のほうで行います。</p>																									
	<p>4) 以下の表に従って固さを微調整します。</p> <table border="1" data-bbox="529 1572 1350 1917"> <thead> <tr> <th colspan="2">【標準練水量】</th> <th>コテ塗り</th> <th>吹付け</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">下塗り用</td> <td>1.0ℓ以内</td> <td>1.0ℓ以内</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上塗り用</td> <td>プレーン・フロウ</td> <td>1.0ℓ以内</td> <td>1.0ℓ以内</td> </tr> <tr> <td>専用骨材 10 (20kg)</td> <td>1.5~2.0ℓ</td> <td>2.0ℓ以内</td> </tr> <tr> <td>専用骨材 25 (20kg)</td> <td>1.5~2.0ℓ</td> <td>1.0~1.5ℓ</td> </tr> <tr> <td>専用骨材 30 (15kg) +80 (15kg)</td> <td>1.5~2.0ℓ</td> <td>1.0~1.5ℓ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専用骨材 40 (20kg)</td> <td>1.5~2.0ℓ</td> <td>1.0~1.5ℓ</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 水分が飛ばないように、マスキングテープ等で密閉することで、練り置きができます。</p>		【標準練水量】		コテ塗り	吹付け	下塗り用		1.0ℓ以内	1.0ℓ以内	上塗り用	プレーン・フロウ	1.0ℓ以内	1.0ℓ以内	専用骨材 10 (20kg)	1.5~2.0ℓ	2.0ℓ以内	専用骨材 25 (20kg)	1.5~2.0ℓ	1.0~1.5ℓ	専用骨材 30 (15kg) +80 (15kg)	1.5~2.0ℓ	1.0~1.5ℓ		専用骨材 40 (20kg)	1.5~2.0ℓ	1.0~1.5ℓ
【標準練水量】		コテ塗り	吹付け																								
下塗り用		1.0ℓ以内	1.0ℓ以内																								
上塗り用	プレーン・フロウ	1.0ℓ以内	1.0ℓ以内																								
	専用骨材 10 (20kg)	1.5~2.0ℓ	2.0ℓ以内																								
	専用骨材 25 (20kg)	1.5~2.0ℓ	1.0~1.5ℓ																								
	専用骨材 30 (15kg) +80 (15kg)	1.5~2.0ℓ	1.0~1.5ℓ																								
	専用骨材 40 (20kg)	1.5~2.0ℓ	1.0~1.5ℓ																								



可とう形 外装薄塗材  
フレクシイ

## 【施工手順 左官施工編】



二瀬窯業株式会社

〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669

本社・工場 : 0948-22-0447 名古屋営業所 : 052-509-2485

関東工場 : 0438-30-7372 大阪営業所 : 06-6583-3310

東京営業所 : 03-6453-6685 福岡営業所 : 0948-22-0447

## 可とう形 外装薄塗材 フレクシイ プレーン (左官) 施工手順

### 下地処理について

#### フレクシイ シーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



#### 1. フレクシイ下塗り

- 1) 塗り付けは金コテを使用し、約 $0.9\text{ kg}/m^2$  ( $22\text{ m}^2/\text{セット}$ )厚み $0.7\text{ mm}$ 程度の割合で均一に塗り付けます。

塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

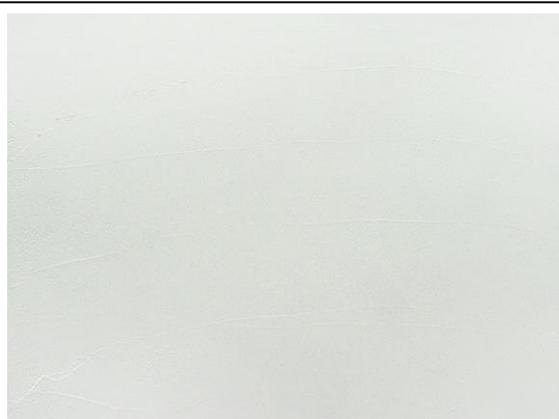
但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



#### 2. フレクシイ上塗り

- 1) 金コテを使用し、 $1.0\text{ kg}/m^2$  ( $20\text{ m}^2/\text{セット}$ )厚み $0.8\text{ mm}$ の割合で均一に塗り拡げ塗り放しの状態で仕上げます。

※コテ跡は残ります。(塗り放し)



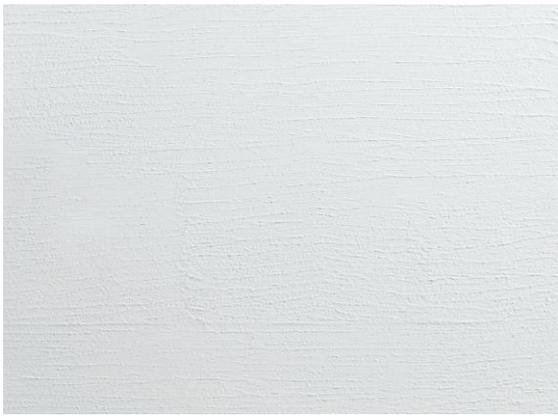
#### 仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシイ シーラーの塗装

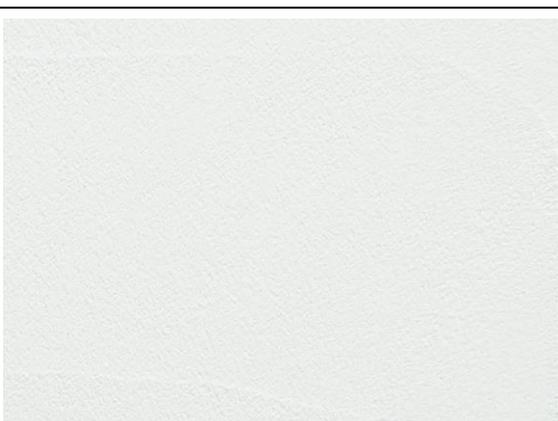
中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上（ $20^{\circ}C$ 、 $65\%RH$ ）乾燥させます。

	<p>1. フレクシイ下塗り</p> <p>1) 塗り付けは金コテを使用し、約<math>0.9\text{ kg}/m^2</math>（<math>22\text{ m}^2/\text{セット}</math>）厚み<math>0.7\text{ mm}</math>程度の割合で均一に塗り付けます。</p> <p>塗装後2時間以上（温度<math>20^{\circ}C</math>、湿度<math>65\%RH</math>）乾燥させます。</p> <p>但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。</p>
	<p>2. フレクシイ上塗り</p> <p>1) 金コテを使用し、<math>1.0\text{ kg}/m^2</math>（<math>20\text{ m}^2/\text{セット}</math>）厚み<math>0.8\text{ mm}</math>の割合で配り塗ります。</p> <p>配り塗り後、5分以内に木鏝を用いて材料を引きずるようにし、ランダムにこてすじ模様を付けます。</p>
	<p>仕上がり</p> <p>※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。</p>

下地処理について

フレクシイ シーラーの塗装

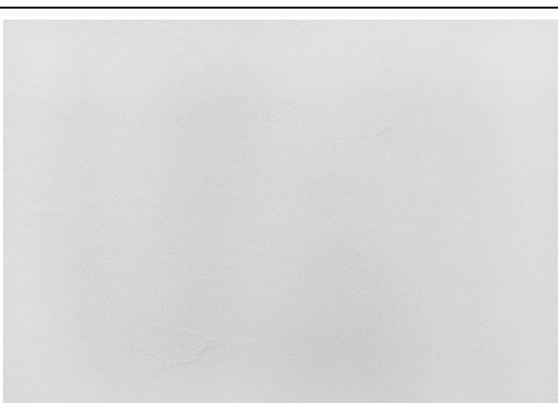
中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。

	<p>1. フレクシイ下塗り</p> <p>1) 塗り付けは金コテを使用し、約<math>0.9\text{ kg}/m^2</math> (<math>22\text{ m}^2/\text{セット}</math>)厚み<math>0.7\text{ mm}</math>程度の割合で均一に塗り付けます。</p> <p>塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。</p> <p>但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。</p>
	<p>2. フレクシイ上塗り</p> <p>1) 金コテを使用し、<math>1.4\sim 1.6\text{ kg}/m^2</math> (<math>27\text{ m}^2/\text{セット}</math>)厚み<math>1.0\text{ mm}</math>程度の割合で全面に塗りつけます。</p> <p>仕上がりは、ある程度コテ波が残ります。 (塗り放し)</p>
	<p>3) 仕上がりは、ある程度コテ波が残ります。 (塗り放し)</p>
	<p>仕上がり</p> <p>※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。</p>

下地処理について

フレクシイ シーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。

	<p>1. フレクシイ下塗り</p> <p>1) 塗り付けは金コテを使用し、約<math>0.9\text{ kg}/m^2</math> (<math>22\text{ m}^2/\text{セット}</math>)厚み<math>0.7\text{ mm}</math>程度の割合で均一に塗り付けます。</p> <p>塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。</p> <p>但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。</p>
	<p>2. フレクシイ上塗り</p> <p>1) 金コテを使用し、<math>2.6\sim 2.8\text{ kg}/m^2</math> (<math>15\text{ m}^2/\text{セット}</math>)厚み<math>1.7\text{ mm}</math>の割合で全面に塗りつけます。</p> <p>仕上がりは、ある程度コテ波が残ります。(塗り放し)</p>
	<p>3) 仕上がりは、ある程度コテ波が残ります。(塗り放し)</p>
	<p>仕上がり</p> <p>※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。</p>

下地処理について

フレクシイ シーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



1. フレクシイ下塗り

- 1) 塗り付けは金コテを使用し、約 $0.9\text{ kg}/m^2$ (厚み $0.7\text{ mm}$ 程度)の割合で均一に塗り付けます。

塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



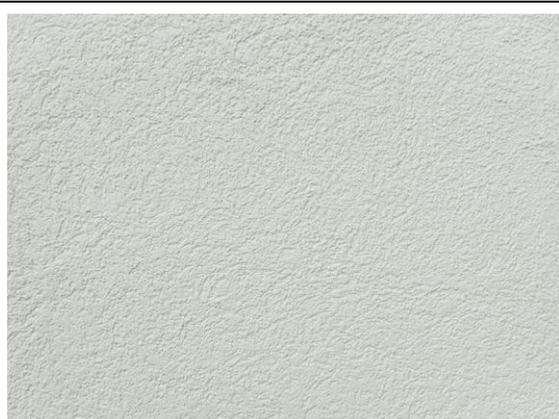
2. フレクシイ上塗り

- 1) 金コテを使用し、 $3.4\sim 3.7\text{ kg}/m^2$ ( $14\text{ m}^2/\text{セット}$ )厚み $2\text{ mm}$ 程度の割合で均一かつ平滑に配り塗ります。

この時、主材を厚く付け過ぎないことが肝要です。厚く付けると、木鏝で模様を出すときに、骨材がうまく転がりません。また、水を入れ過ぎますと、材料のダレが生じ模様形成に支障を来します。



- 2) 5分以内に、木鏝で円を描くように大きな骨材を転がしながら模様を付けます。表面皮張りが始まりますと模様出しができませんので、配り塗り後、速やかに模様付けを行って下さい。



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシイ シーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。

	<p>1. フレクシイ下塗り</p> <p>1) 塗り付けは金コテを使用し、約<math>0.9\text{ kg}/m^2</math> (<math>22\text{ m}^2/\text{セット}</math>)厚み<math>0.7\text{ mm}</math>程度の割合で均一に塗り付けます。</p> <p>塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。</p> <p>但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。</p>
	<p>2. フレクシイ上塗り</p> <p>木鏝を使用し、<math>2.8\sim 3.0\text{ kg}/m^2</math> (<math>14\text{ m}^2/\text{セット}</math>)厚み<math>1.9\text{ mm}</math>程度の割合で塗りつけます。</p> <p>その際、塗布面が平滑になり過ぎないようにこてムラを残した状態でラフに仕上げます。(塗り放し)</p>
	<p>仕上がり</p> <p>※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。</p>

下地処理について

フレクシイ シーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



1. 下塗り

1) 塗り付けは金コテを使用し、約 $0.9\text{ kg}/m^2$  ( $22\text{ m}^2/\text{セット}$ )厚み $0.7\text{ mm}$ 程度の割合で均一に塗り付けます。

塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



2.上塗り

1) 金コテを使用し、 $2.8\sim 3.0\text{ kg}/m^2$  ( $14\text{ m}^2/\text{セット}$ )厚み $1.9\text{ mm}$ 程度の割合で塗り付けます。



2) 模様出しは、専用くし目ゴテ(ぎざぎざくん)を使用し、横に引きずります。その際、コテは塗付面に対して45度程度ねかせて塗りますと、よりくっきりとした仕上がりになります。

尚、くし目を引く際、材料がくし目にたまってきます。そのまま使用し続けると、模様が崩れますので、適宜こて板等を用いて取り除いて下さい。



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。



可とう形 外装薄塗材  
フレクシイ

## 【施工手順 吹付施工編】



二瀬窯業株式会社

〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669

本社・工場 : 0948-22-0447 名古屋営業所 : 052-509-2485

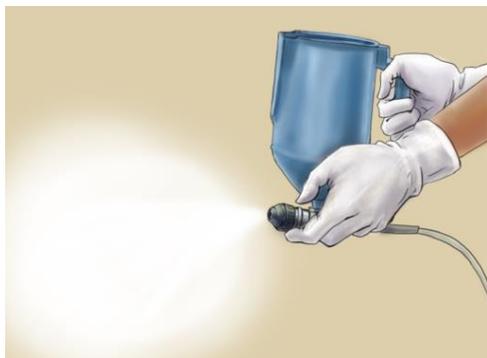
関東工場 : 0438-30-7372 大阪営業所 : 06-6583-3310

東京営業所 : 03-6453-6685 福岡営業所 : 0948-22-0447

下地処理について

フレクシイ シーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



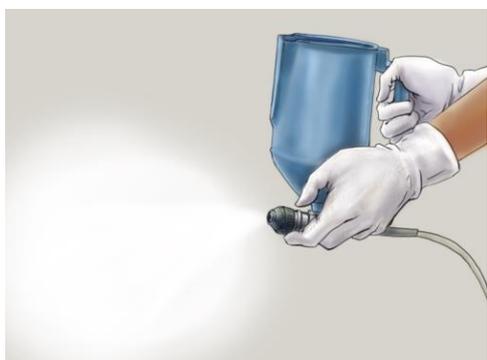
1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、  
約  $0.9\text{ kg}/m^2$  ( $22\text{ m}^2/\text{セット}$ ) 厚み0.7mm程度  
の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面に  
クレーター模様が発生しないように空気ノズルとチ  
ップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥  
させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、  
16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) 下吹き同様の方法で、吹きムラが発生しないように  
均一に吹付けます。

リシンガン(口径3~4mm)を使用し、  
約  $0.9\text{ kg}/m^2$  ( $20\text{ m}^2/\text{セット}$ ) の割合で均一に吹  
付けます。

上吹き後、5分以内にパターンを形成します。



3. 模様出し

1) 金コテを使用し、塗り拡げます。仕上りとしては、  
ある程度のコテ波を残します。(塗り放し)。



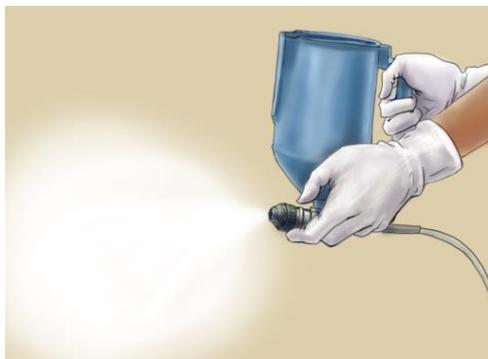
仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾  
燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$  の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上（ $20^\circ C$ 、 $65\%RH$ ）乾燥させます。



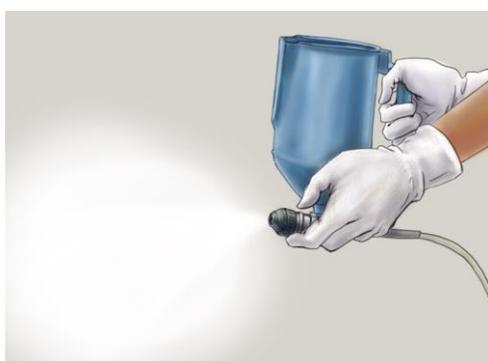
1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、  
約 $0.9\text{ kg}/m^2$  ( $22\text{ m}^2/\text{セット}$ ) 厚み $0.7\text{ mm}$   
程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上（温度 $20^\circ C$ 、湿度 $65\%RH$ ）乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) 下吹き同様の方法で、吹きムラが発生しないように均一に吹付けます。

リシンガン(口径3~4mm)を使用し、

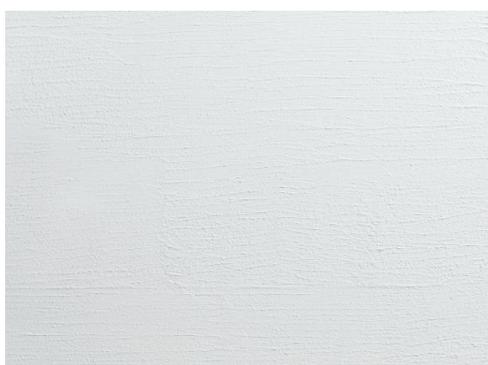
約 $0.9\text{ kg}/m^2$  ( $20\text{ m}^2/\text{セット}$ ) の割合で均一に吹付けます。

上吹き後、5分以内にパターンを形成します。



模様出し

木鏝を用いて材料を配り塗り後、水平に引きずるようにし、ランダムにこてすじ模様を付けます。



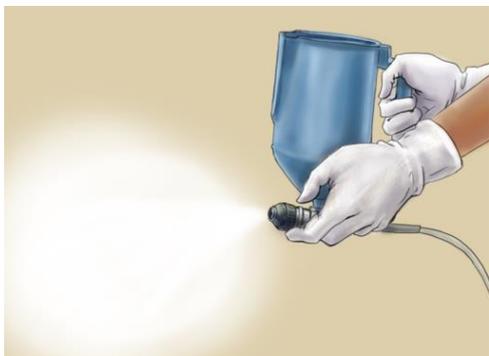
仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$  の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



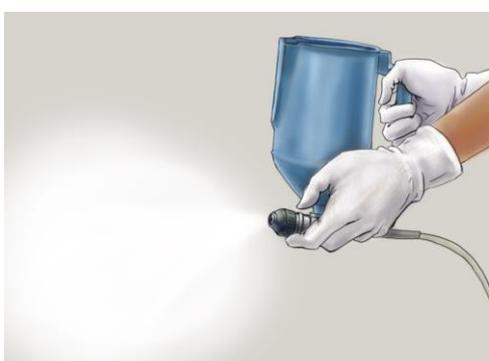
1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、  
約 $0.9\text{ kg}/m^2$  (22 $m^2$ /セット) 厚み0.7mm  
程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付けます。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

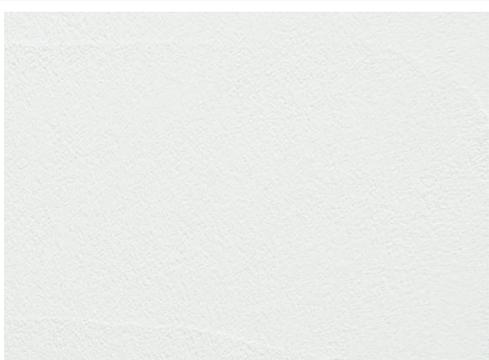
1) リシンガン(口径5mm)を使用し、  
約 $1.5\text{ kg}/m^2$  (22 $m^2$ /セット) の割合で均一に吹付けます。

また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付けます。上吹き後、5分以内にパターンを形成します。



模様出し

3) 金コテを使用し、塗り広げます。仕上がりは、ある程度コテ波を残します。(塗り放し)



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

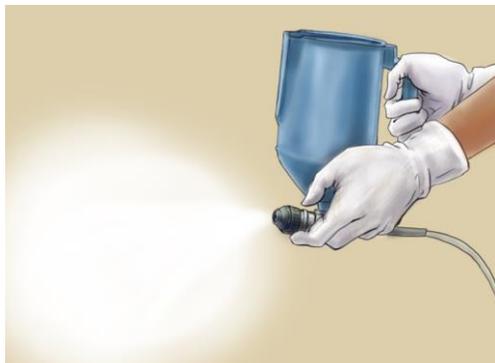
**可とう形 外装薄塗材 フレクシイ サンディ 25 (吹付) 施工手順**

<p><u>下地処理について</u></p> <p>フレクシイシーラーの塗装                  中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、<math>0.06\sim 0.08/m^2</math>の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。</p>	
	<p>1. 下吹き</p> <p>1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、  <b>約0.9kg/m<sup>2</sup> (22m<sup>2</sup>/セット) 厚み0.7mm</b>                  程度の割合で均一に吹付けます。</p> <p>この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。                  ※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。</p>
	<p>2. 上吹き</p> <p>1) スタッコガン(口径8mm)を使用し、  <b>2.9kg/m<sup>2</sup> (14m<sup>2</sup>/セット)</b>の割合で均一に吹付けます。</p> <p>また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付します。上吹き後、5分以内にパターンを形成します。</p>
	<p>模様出し</p> <p>3) 金コテを使用し、塗り広げます。仕上がりは、ある程度コテ波を残します。(塗り放し)</p>
	<p>仕上がり</p> <p>※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。</p>

下地処理について

フレクシィシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、**約0.9kg/m<sup>2</sup>(22m<sup>2</sup>/セット)厚み0.7mm程度**の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は、16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) スタックガン(口径8mm~12mm)を使用し、**3.5kg/m<sup>2</sup>(14m<sup>2</sup>/セット)**の割合でスタック小模様状に吹付けます。

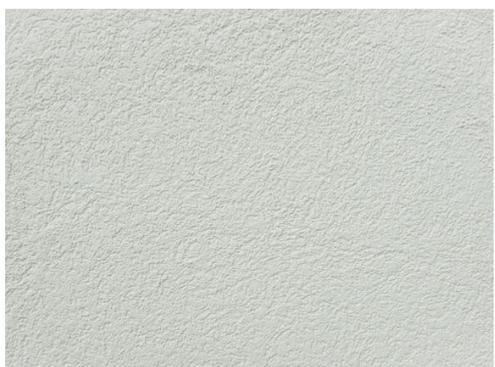
また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付します。

上吹き後、5分以内に模様出しします。



2) 模様出し

木鏝で円を描くように大きな骨材を転がしながら模様を付けます。表面皮張りが始まりますと模様出しができませんので、配り塗り後、速やかに模様付けを行って下さい。



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



1. 下吹き

1) 吹付けはリシガン(口径3mm)を使用し、  
約 $0.9\text{ kg}/m^2$  ( $22\text{ m}^2/\text{セット}$ ) 厚み0.7mm  
程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付します。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) スタッコガン(口径8mm~12mm)を使用し、  
 $3.3\text{ kg}/m^2$  ( $12\text{ m}^2/\text{セット}$ ) の割合で  
スタッコ小模様状に吹付けます。

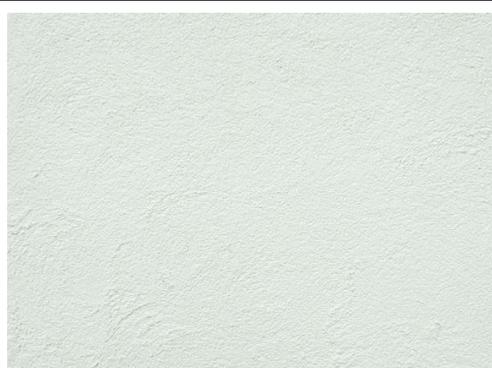
また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付します。

上吹き後、5分以内に模様出しします。



2) 模様出し

スタッコ小模様を8の字を描くように、木鏝でつぶします。平滑になりすぎないようにコテムラを残した状態でラフに仕上げます。



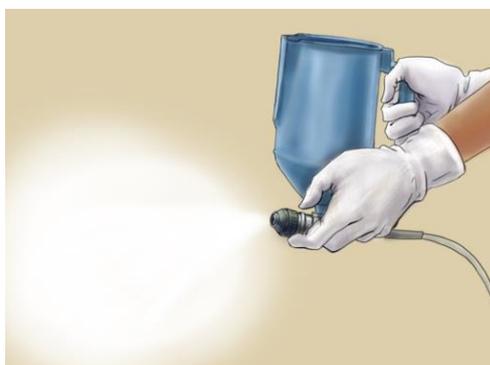
仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

下地処理について

フレクシイシーラーの塗装

中毛ローラー、エアレスユニット、スプレーガン、刷毛を使用し、 $0.06\sim 0.08/m^2$ の割合で均一に塗布します。塗付後2時間以上(20℃、65%RH)乾燥させます。



1. 下吹き

1) 吹付けはリシンガン(口径3~4mm)を使用し、  
**約 $0.9\text{ kg}/m^2$  ( $22\text{ m}^2/\text{セット}$ ) 厚み $0.7\text{ mm}$**   
程度の割合で均一に吹付けます。

この時、材料の飛散が良くなるように、また吹付面にクレーター模様が発生しないように空気ノズルとチップの距離を調整し吹付けます。

※塗装後2時間以上(温度20℃、湿度65%RH)乾燥させます。

但し、化粧目地等作成などで、テープを貼る場合は16時間以上乾燥させます。



2. 上吹き

1) スタッコガン(口径8mm~12mm)を使用し、  
 **$3.3\text{ kg}/m^2$  ( $12\text{ m}^2/\text{セット}$ )**の割合で  
スタッコ小模様状に吹付けます。

また、施工面が広い場合には、見切りの良い部位まで吹付けます。

上吹き後、5分以内に模様出します。



模様出し

2) 専用くし目ゴテ(ぎざぎざくん)を使用し、横に引きずります。その際、コテを塗付面に対して45度程度ねかせますと、よりくっきりとした仕上がりになります。

尚、くし目を引く際、材料がくし目にたまってきます。そのまま使用し続けると、模様が崩れますので、適宜こて板等を用いて取り除いて下さい。



仕上がり

※仕上塗り後、24時間以上雨に当たらないよう乾燥養生して下さい。

## 施工上の注意事項

1. 気温5℃以下、湿度85%以上、または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。  
作業終了後に、降雨、降雪の恐れがある場合は雨養生をして下さい。尚、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時ころまでに作業を切り上げるようにして下さい。
2. 常に結露が発生する地域、時期での施工は避けて下さい。
3. 材料の保管は気温5～35℃で、直射日光を避け貯蔵して下さい。
4. 施工前に模様を確認し、コンパネなどで試し塗りをを行い、仕上がりを確認して下さい。
5. 同一面を施工する場合、その日のうちに施工するようにして下さい。
6. **模様の塗継は上下左右ともランダムな位置で行うようにし、できるだけ揃えないようにして下さい。特に、足場継する場合は、模様が足場の上下にランダムになるようにします。**
7. 高温、強風などの条件では表面乾燥が特に早く、模様付が難しくなることがあります。配り塗りと模様付けの二人一組のコンビで、配り塗りに後ただちに模様付けができるようにして下さい。
8. 出隅部における模様付けは、出隅部を巻くように模様付けして下さい。模様を切る位置はランダムにし、同じ位置にならないようにして下さい。
9. 入隅部は、入隅部分から外に向かって模様付けして下さい。
10. 気温が5℃以下になりそうな時は原則として施工を行わないで下さい。

### 【その他注意事項】

1. 笠木、換気口などにつきましては、水切り設計とすることを推奨します。平面部に堆積した汚染物質が雨などにより流れだし、壁面に伝わると汚染する結果となります。
2. 直射日光、水濡れ、高温(40℃以上)または低温(0℃以下)での材料の保管は避けて下さい。

### 【メンテナンスについて】

1. 施工直後に洗浄を行う場合は、必ず4週間以上経過した後に行ってください。
2. 塗布面に汚れ等が付着した場合は、水洗いにて除去して下さい。
3. 高圧洗浄機を使用される場合は、吐出圧を8MPa以下として下さい。